

ひかりがい 光害ってなんだろう？

都会では、太陽が沈みあたりが暗くなって、見上げるとたくさんの星…とはいきませんね。天の川はもちろん、星さえもあまり見えません。その大きな原因は、街灯やネオンサインなどの明かりです。明かりはたいへん便利で、必要なものですが、夜空にもれる明かりは、星を見えにくくしてしまいます。動植物に悪影響を及ぼすこともあります。これを光害といいます。

宇宙から見た夜の地球の様子です。ヨーロッパや東アメリカ、そして、日本が特に明るいことが分かります。



画像提供: NOAA's National Geophysical Data Center, DMSP data collected by the US Air Force Weather Agency.

光害をテーマにしたプラネタリウム一般投影番組

竜の見ていた満天の星

ドラネコ三匹 夜空に星をとりもどせ!!

ある日、レオ、ミケ、ルーのドラネコ三匹が首長竜「ライラ」に出会いました。ライラは満天の星が、現代にはないことに驚き、なげきます。なぜ、星が見えなくなってしまったのでしょうか？三匹はライラに満天の星空をもう一度見せてあげることができるのでしょうか？

(星空解説と合わせて約50分)

投影期間 7月8日(水)～10月12日(月)

投影日時はホームページ
(<http://www.tamarokuto.or.jp>) もしくは電話でお問合せください。



サイエンス友の会 21年度会員募集中!! 申込受付中! 7月31日(金)まで

当館ホームページの **ご利用案内** ➡ **サイエンス友の会** より申込書をダウンロードしてお申込みください。
館内のほか、小平市・東村山市・清瀬市・東久留米市、西東京市の市役所をはじめ図書館、公民館にも申込書が置いてあります。

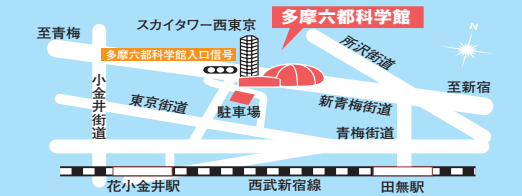
多摩六都科学館

【お願い】土・日・祝日およびお盆の期間は、駐車場が大変混雑しますので、公共交通機関のご利用をお願いします。

■開館時間 9:30～17:00(入館は16:00まで)
7/18～8/31は17:30まで延長(入館は16:30まで)ただし、8/13～8/16は18:30まで延長(入館は17:30まで)
9/19～9/23は17:30まで延長(入館は16:30まで)

料 金	大人	小人
展 示 室 券	500円	200円
展 示 ・ プ ラ ネ タ リ ウ ム 券	1,000円	400円
展 示 ・ 全 天 周 映 画 券	1,000円	400円
セット券(展示+プラネタリウム+全天周映画)	1,400円	500円

※小人＝4歳～高校生
※団体＝20人以上は2割引、ただしセット券については、通常の個人料金(大人1,500円・小人600円)の2割引です
※ドーム座席数 207席(車いすスペース6席)
■駐車場 乗用車1日700円 バス1日2,000円



ホームページアドレス **<http://www.tamarokuto.or.jp>**

多摩六都科学館ニュースVol.52 平成21年7月 編集発行／多摩六都科学館組合 東京都西東京市芝久保町5-10-64

各種申込のあて先は、〒188-0014 西東京市芝久保町5-10-64 多摩六都科学館まで ☎042-469-6100

次号は平成21年9月発行予定です。

スターウィークイベント

カウントダウンでライトダウン!
～夜空の星をながめてみよう～

午後8時に科学館とその周辺の明かりが消えます。双眼鏡や望遠鏡を使わないでどのくらいの数の星が見えるのでしょうか？前半は「光害」についての天文教室、後半がカウントダウンイベントです。

日 時 8月8日(土) 19時～20時30分

対 象 小学生～一般 (小学生は保護者と参加)

定 員 80名

申込方法 事前申込 7月25日(土) 必着

※雨天の場合、カウントダウンイベントは、館内で行います。

ご協力いただいています



写真提供／(株)田無タワー

カウントダウンとともにスカイタワー西東京も消灯します。

まちの中で星を見てみよう!

町明かりが明るすぎる時には、こんな工夫をして星をさがしてみよう。

- ・手をかざすなどして直接明かりが目に入らないようにする。
- ・目が慣れるまで時間がかかるので、目に明かりを入れないようにしてしばらく待ってから星空を見る。
- ・天頂付近(頭の真上付近)を見上げると、少し見えやすい。
- ・なるべく開けているところ、公園やグラウンドなど、空が広いところで見るとよい。
- ・月の出ていない日を選ぶ。

〈プラネタリウム解説員〉

多摩六都科学館ニュース

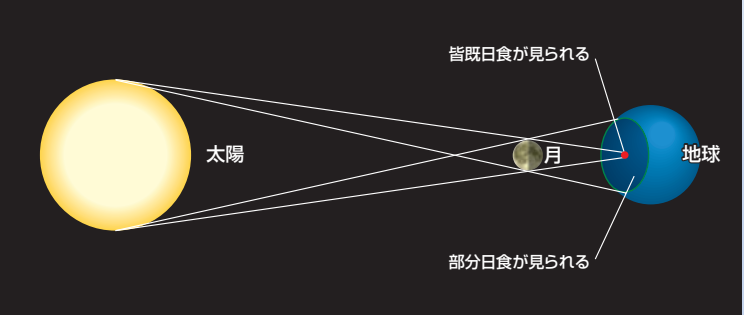
TAMAROKUTO SCIENCE CENTER VOL.52 2009.7

7月14日から8月31日まで毎日開館します

ロクトで宇宙に近づこう

7月22日 皆既日食

日本ではなんと**46年ぶり**の皆既日食(前回は1963年7月21日でした)。東京では9時55分頃から12時30分頃にかけて部分日食を見ることが出来ます。次に日本で皆既日食が見られるのは26年後(2035年9月2日)です。ぜひ、この機会にみんなで日食を体験しましょう!



注意!

○日食を観察するときの注意点

- ・肉眼で直接太陽を見てはいけません(数秒間でも危険です)
- ・双眼鏡や望遠鏡で太陽を見てはいけません。
- ・黒いしたじき、CD、写真フィルム、サングラス、ゴーグルなどを使って太陽を見てはいけません。
- ・日食グラスを使用しても、目が疲れたり痛くなったりしたら、すぐに観察をやめましょう。

○安全な日食観察とは・・・

- ・太陽が地面などに映し出す木もれ日を観察する。
- ・ピンホールを通して映し出された太陽の形を観察する。
- ・日食グラスで太陽を観察する。ただし取扱説明書の指示に従い、目に負担をかけないようにしましょう。
- ・その他わからない場合は、事前に専門家にお問合せください。

館長室から 天体望遠鏡が誕生したのは400年前、イタリアの科学者、ガリレオ・ガリレイが月や惑星などを望遠鏡で観測したときだといわれています。今年は天体望遠鏡が誕生して400歳の記念すべき年、世界天文年です。天体望遠鏡は大型化し、光だけでなく電波や赤外線、紫外線、X線など目に見えない光もとらえる望遠鏡まで登場しました。その結果、現代の天文学は人間と宇宙の歴史が深く関わっていることを教えてくれます。また、今年は生命の歴史に、進化という見方が誕生して150年目に当たります。チャールズ・ダーウィンが「種の起源」という本を発表したのは150年前でした。現代の科学は、人間が宇宙の歴史、そして生命の歴史の中でどのように誕生してきたのかを語り始めました。今年は、この科学の発展に大きく影響した発見の記念すべき年です。多摩六都科学館でも世界天文年を記念した色々な企画を用意しました。また、生命進化を探る上で大切な役割を果たした化石にまつわるイベントもあります。そんな視点で、科学館ニュースのお知らせを探してみてください。

多摩六都科学館館長 **高柳 雄一**



多摩六都科学館は 小平市、東村山市、清瀬市、東久留米市、西東京市の5市で運営しています。5つの展示室、屋外展示、科学学習室およびサイエンスエッグ(プラネタリウム・全天周映画)で科学の面白さを体験できます。
〒188-0014 東京都西東京市芝久保町5-10-64 TEL.042-469-6100
★ **多摩六都科学館** ホームページ: <http://www.tamarokuto.or.jp> 携帯サイト: <http://www.tamarokuto.or.jp/i/>

携帯電話で科学館の情報を
見ることができます。



ぐるっとバス
RUIT 2009

